

## 生物科学学会連合 第24回連絡会議 議事録

**日時**：2010年1月22日（金）14:00～16:00

**場所**：東京大学 弥生講堂 会議室

**出席**：宮島 篤（生科連2009-2010年代表・日本生化学会）

入江 賢児（生科連2009-2010年副代表・日本細胞生物学会）

浅島 誠（生科連前代表・日本動物学会）

鎌田 直人（個体群生態学会）

宮本 武典（日本味と匂学会）

岩崎 博史（日本遺伝学会）

山下 雅道（日本宇宙生物科学学会）

河田 光博（日本解剖学会）

長谷部光泰（日本植物学会）

橋本 哲男（日本進化学会）

岡野 栄之（日本神経化学会）

山根 慶子（日本神経科学学会）

北 潔（日本生化学会）

嶋田 正和（日本生態学会）

田幡 憲一（日本生物教育学会）

曾我部正博（日本生物物理学会）

越田 澄人（日本発生生物学会）

小泉 修（日本比較生理生化学会）

山本 和俊（日本比較内分泌学会）

木暮 一啓（日本微生物生態学会）

福田 博（日本分子生物学会）

三宅 健介（日本免疫学会）

安原 一（日本薬理学会）

（計22学会23名）

**欠席**：日本植物生理学会 日本生理学会

（計2学会）

中西 秀彦 山口 恵子（事務局）

（敬称略、学会名五十音順）

**議長**：宮島 篤

- ・本連絡会議は本年度第一回目の定例連絡会議に相当するため、「運営に関する申し合わせ事項」第3条により本連絡会議は成立した。なお、2/3以上の会員の出席が確認されたため、同申し合わせ事項の付則2により、本連絡会議における満場一致の議決事項については生科連の決定事項として採用される。

### 議題・報告：

#### 1) 前回議事録の承認

前回議事録案が確認され、承認された。

#### 2) 平成21年度会計報告

事務局より報告が行われ、承認された。

#### 3) 記者会見報告

生科連より2009年12月7日付で発表された「学術・科学技術の研究振興政策に関する要望」について同日行われた記者会見について報告がなされた。記者会見は東京大学農学部内の会場で行われ、加盟学会の代表等多数と東京大学大学院の若手教員、ポスドク、大学院生が参加した。

#### 4) 生科連ワーキンググループ会議報告

生科連ワーキンググループは2009年11月11日に東京大学山上会館にて会議を開催し、今後の生科連の組織体制のあり方について検討したとの報告がなされた。

近年、連合体の活動に対する各方面からの期待が高まっており、迅速かつ的確に意見を集約発表する機能が求められている。現状で生科連はこの点について対応できていないため、検討課題となっている。

2009年10月に発表された「科学技術政策のあり方に関する日本発生生物学会会長声明」や、2009年11月に博物館関係者から寄せられた博物館法・文化財保護法に関する

勧告への反対声明発表の勧めについて、生科連として何らかの対応を迅速に行うのが難しかったため、いずれも加盟学会個々の対応を求めるとしたことがあり、本連絡会議では各学会の対応状況に関する調査結果が報告された。

また生科連として 2009 年 12 月 7 日付「学術・科学技術の研究振興政策に関する要望」をまとめる際にも、意見の集約と決定の方法論が確立していないという問題点が明確になった。

## 5) 日本地球惑星科学連合調査報告

生科連ワーキンググループで、既に機能している連合体の調査を行うことになり、2010 年 1 月 8 日、日本地球惑星科学連合の木村学会長ならびに同連合事務局の快諾を得て、宮島代表ならびに生科連事務局が取材を行った。本連絡会議においてその調査結果が報告された。

## 6) 生科連の今後の運営方法・活動について

### ・生物科学学会連合規約案について

生科連ワーキンググループの検討結果を受け、現在の生科連の会則・規約等に相当する「生物科学学会連合の運営に関する申し合わせ事項」の内容を全面的に見直し「規約」とする案が審議された。会議でなされた議論・意見を反映させ修正案を作成しメールにて各学会へ検討依頼が出されることとなった。

### ・生科連案内パンフレット等の作成について

生科連の案内パンフレットならびに封筒を作成することとなった。案内パンフレットには加盟学会代表の顔写真を掲載した各学会の案内記事を掲載し、一年ごとに内容を更新する。後日改めて各学会へ記事作成依頼が出されることとなった。

## 7) 日本学術会議からの報告

浅島前代表より日本学術会議の動向について情報提供がなされた。「日本の展望～生命科学からの提言」、「学術研究の大型・大規模計画ロードマップ」、「ジャーナル問題」など。

## 8) その他

- ・日本分子生物学会より科学技術予算に関する緊急フォーラム「事業仕分けから日本の未来を考える」（2009 年 12 月 9 日開催）の開催報告があった。同フォーラムに出席した宮島代表からも補足説明がなされた。
- ・宮島代表より、日本生態学会第 13 回公開講演会「なぜ地球の生き物を守るのか？－生物多様性条約が守る自然の価値」について生科連後援名義の使用申請があり承諾の回答をしたとの報告がなされ、改めて承認された。
- ・国際生物学オリンピック日本委員会の毛利秀雄委員長からの報告と生科連加盟学会への協力に対する謝辞が浅島前代表より伝えられた。IBO2009 は無事開催され日本の参加者全員が銀メダル以上の成績を収めたとのこと。
- ・次回連絡会議は 6 月頃に開催予定。

以上